

様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

2023年1月30日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社キッツエスシーイー

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

当社は地球環境の保全を実現するために、省エネ設備の導入をはじめ、資源リサイクル推進などを、継続的かつ積極的に実施。社員一人ひとりが、キッツグループ環境理念を理解し、環境経営を推進。

企業としての価値を高めていくため、生産時に排出されるCO₂の削減に努め、設備投資による高付加価値製品の製造を通じて、新たな付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2023年度より事業適応を開始し2024年度(目標年度)までに、会社全体の炭素生産性を9509.1%向上させることを目標とする。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度(計画終了年度)に、経常利益を計上することを目標とする。

(4) 事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

はん用機械器具製造業（25）

（選定の理由）

当社は弁・同附属品を製造し（小分類で該当）、販売している事業者であるため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度に新田SC工場の新棟を新設。DXをコンセプトに据え、一部自動化も実施することで効率化を実現。本投資の背景として、半導体需要の高まりから、半導体メーカーの投資マインドが旺盛となっており、その投資マインドに応えるべく増産体制を整える投資という位置づけ。

主要製品であるダイヤフラム弁を中心とした製造ライン一式を導入。また、新田SC工場で使用する電力は全てCO2フリー電気で賄う計画であり、これらの取組みにより炭素生産性を9509.1%向上させる。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2023年1月

終了時期：2024年12月